

具体的な達成目標

【重点目標】	子供も教師も「期待の登校、満足の下校」	
【達成目標】	・友達の考えにつなげて話したり書いたりする	85%
	・気持ちのよい挨拶をする	85%
	・進んで健康づくりに取り組む	90%

前年度
 昨年度は挨拶と運動の項目では保護者評価が達成できなかった。今年度も学校生活全般を通して「人との関わり」を大切にしながら継続的に教育活動に取り組んでいく。また、昨年度作成した「しっし子メディア体操」のように、児童の健康やメディア利用についての意識をより高めるような取組を工夫する。自分の生活習慣を見直し、進んで体力向上に挑戦する子供、言葉遣いに気を付け、進んで地域の人にも挨拶できる子供の育成を目指していきたい。

行動Ⅰ	友達の考えにつなげて話したり書いたりする (授業づくり部会)	気持ちのよい挨拶をする (心づくり部会)	進んで健康づくりに取り組む (体づくり部会)
	相手の目を見て話を聞き、友達の考えにつなげて話したり、書いたりすることができる。 ①全校で「話す・聞く・書く」の約束づくりに取り組み、具体的なモデルを示す。 ②児童が「話す・聞く・書く」力の伸びびが実感できるような評価の場を工夫し、自分の考えを表現する意欲を高める。 ③児童が進んで自分の考えを話したり書いたりしたくなるような、学習課題を工夫する。	気持ちのよい(進んで、笑顔で、はっきりと)挨拶をすることができる。 ①児童会を中心に「あいさつ運動」等を工夫し、気持ちのよい挨拶を校内・家庭・地域に広げる。 ②道徳科の時間に気持ちのよい挨拶について考える機会を持つと共に、実践化を図る。 ③家族や地域の方が来校する機会を捉え、進んで挨拶できるよう働きかける。 ④挨拶の仕方や約束について共通理解を図り、全職員でベクトルを揃えて取り組む。	健康な体をつくろうとする意識を高める。 ①「心も体もリフレッシュデー」「しっし子メディア体操」等の取組を通して、家庭とも連携しながら、主体的に生活を見直し改善しようとする意欲を高める。 ②「チャレンジ3015」の取組を推奨して、体育保健委員会を中心に全校で楽しく体力づくりができる場を設定する。 ③正しい姿勢のよさを発信することでよい習慣を身につけようとする意欲を高める。

中間評価

○アンケート形式による児童の自己評価、教員、保護者の評価を実施する。
 ○学校評議員への評価結果の説明を行い、助言を求める。保護者には、学校便り、ホームページ、保護者会、PTAの会議等を通して公表する。

	児童	保護者	教職員
・友達の考えにつなげて話したり書いたりする	70%→ %	70%→ %	75%→ %
・気持ちのよい挨拶をする	80%→ %	80%→ %	80%→ %
・進んで健康づくりに取り組む	85%→ %	85%→ %	85%→ %

行動Ⅱ	友達の考えにつなげて話したり書いたりする。	気持ちのよい挨拶をする	進んで健康づくりに取り組む
	全体研修会等で調査結果を検討し、今後の取組について協議し共通理解を図る。 ○ 評価が高い場合は、達成率を少し高い数値に変更して取り組む。 ▲ 評価が低い場合は、目標値の適正さと対応策を検討し、改善して取り組む。		

年度末評価

・教職員、児童、保護者を対象に学校評価を実施する。
 ・学校評議員による学校評価を実施する。
 ・学校評価のうちのアクションプランの結果を学校便りやホームページで公表する。

	児童	保護者	教職員
・友達の考えにつなげて話したり書いたりする	85%→ %	85%→ %	85%→ %
・気持ちのよい挨拶をする	85%→ %	85%→ %	85%→ %
・進んで体を鍛える子供	90%→ %	90%→ %	90%→ %

次年度
 3つの部会で年度末の評価結果を分析し、効果があったことは継続、効果があまり見られなかったことについては方策を再考するなど、次年度の取組み内容や方策を検討する。